

# 西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



12月定例会  
第154号

TOPICS

▶ 令和5年4月23日 西宮市議会議員選挙



西宮砲台に昇る部分月食と昇すぼる (御前浜)

## CONTENTS

- 12月定例会の主な内容、審議日程など …… 2
- 一般質問、3月定例会の開催予定など …… 3～8
- 委員会の活動状況 …… 9～10
- 議案等審議結果一覧表 …… 11
- 西宮市議会議員選挙、  
新型コロナウイルス感染症対策 …… 12

# 12月定例会

## 主な内容

12月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP11をご覧ください。



### 主な審議日程

11月	
30(水)	本会議 提案説明
12月	
6(火)	
7(水)	本会議 一般質問 (19人)
8(木)	
9(金)	本会議 一般質問 (1人)、質疑、委員会付託
13(火)	常任委員会 (総務、健康福祉、教育こども)
14(水)	常任委員会 (民生、建設)
19(月)	常任委員会 (健康福祉) 本会議 委員長報告、討論、採決

補正予算 (第9号)

可決・賛成多数

### 補正予算の概要

国家公務員の一般職の給与改定が実施されたことに伴い、西宮市職員の給与改定が行われました。人事院勧告に基づき、行政職職員の給与改定率は平均0・23%とされ、期末勤勉手当は年間0・1月分引き上げられました。

条例 (市長提出)

可決・全会一致

### 西宮市職員の定年等に関する条例

#### ▽定年年齢の段階的引き上げ

令和5年4月1日以降、地方公務員の定年年齢が、2年ごとに1歳ずつ引き上げられ、13年度以降は65歳となります。

#### ▽役職定年制の導入

組織の新陳代謝を図り、公務の能率的

な運営を行うことを目的として、管理監督職(係長級以上)に就く職員を60歳になつた後の最初の4月1日に非管理監督職(主幹)に異動させる役職定年制(管理監督職務上限年齢制)を導入されます。

#### ▽定年前任用短時間勤務制の導入

60歳になつた後の最初の4月1日から定年退職日までの間に退職した職員を、本人の希望により短時間勤務の職に任用できる制度が導入されます。

### 所管事務調査 (民生・建設常任委員会)

西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業 実施方針及び要求水準書(案)等

現在の陸上競技場は昭和32年、テニスコートは昭和38年、中央体育館は昭和40年に竣工し、老朽化に伴う再整備が急務となっています。また、西宮中央運動公園は、市南部地域の地域防災拠点に位置付けられており、災害対策活動の拠点としての機能の充実が求められています。

再整備計画は、新型コロナウイルスの影響によ

り、令和2年に事業実施を一旦停止し、財政状況の見通しが不透明となつたため、事業内容の見直しが進められてきました。が、今回、今後の実施方針と事業内容の案について報告が行われました。

事業の実施に当たっては、民間の資金、経営能力および技術的能力の活用を図るPFIの手法が採用され、施設の整備に際しては、省エネルギーの徹底、停電時の電力確保を目的とした再生可能エネルギーの活用、障害の有無に関わらず子ども達が一緒に遊べるインクルーシブ遊具の配置などが予定されています。

### 決議

否決・賛成少数

#### 坂上明議長不信任決議

世界平和統一家庭連合(旧統一教会)との過去の関係がネット配信記事で報道されたことに関し、議会を代表する議長の役職をこのまま続けることは、西宮市議会の名誉を傷つけるものであるとして、議員7名から議長に対する不信任決議案が提出されましたが、不法行為ではない

### 請願

過去の行動に今責任を取るべきなのか、議長として便宜を図つた事実も確認されていない等の意見も出され、賛成少数で否決されました。

▽国に対し「介護保険制度の改悪をしないことを求める意見書」の提出を求める請願

▽「教育現場でのコロナ感染対策」について、子ども達自身への意見の聴きとり、実態調査、見直し改善を求める請願

### 【不採択】

#### 11月臨時会を開催

11月9日に臨時会を開催し、エネルギー、食料品等の物価高騰対策に関する一般会計補正予算案(児童扶養手当受給者等の低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金など)を全会一致で可決し、一般会計補正予算案の専決処分(非課税世帯等臨時特別給付金)を全会一致で承認しました。

# 一般質問

20人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。質問の一部をご紹介します。



松山 かつり  
公明党議員団

## 見守りホットライン事業の対象者拡充

問 見守りホットラインの障がい者の利用は、4名(令和4年)にとどまっている。現在身体障害者手帳をお持ちの方が対象だが、知的・精神障害者まで利用の拡大を図るべきと考えるがどうか。

答 地域で安全かつ安心して自立した生活が行えることを目的としており、今後は必要とする方々に利用してもらえよう対象者の範囲の拡充を検討する。

## 健康ポイント事業の対象者拡充

問 健康ポイント事業の70歳以上の利用率は非常に低いので、対象者の拡充を図るべきと考えがどうか。

答 フレイル予防の視点から早期に取り組んでもらうことが

重要と考えており、令和5年10月から実施予定の第3期事業では、対象年齢を65歳に引き下げることを検討している。



## 市民館におけるWiFi環境の整備

問 市民館での無線ルーターの貸し出しなど、WiFi環境の整備について本市の考えを聞く。

答 WiFi環境の整備は施設の運営に関わる内容のため、まずは指定管理者ほかの意見を聞き、導入に向けた協議をしたい。また、改めて地区市民館でのニーズ把握に努め、整備、導入時期を検討していく。

(質問時間50分)



花岡 ゆたか  
市民クラブ改革

## 市立高校におけるアルバイト禁止の校則

問 アルバイトは高校生に積極的に勧めるべきだと考えるが、なぜ禁止するのか。

答 勤労観や職業観の育成の面もあるが、学業や健康等への影響が無視できないため市立高校では原則禁止している。しかし家庭の経済的事情で申し出があれば個々に相談に応じている。

## 随意契約に関する市の考え

問 「内部監査で指摘を受けないように」という考えで、一つの工事を分割して契約日を変えたり、工事名称を少しずつ変えたりして、随意契約をする事について市の考えは。

答 理由のない分割発注は適正でなくコンプライアンスを常に意識し業務に臨む必要がある。予定価格の基準の見直し、緊急性を判断するチェックシートの作成により透明化を図っている。

## 建築物の完了検査率

問 完了検査を受けない前提で、悪意を持って建築するならば、違法建築が建て放題になってしまう。完了検査率100%にするために、市は今後どのような対応をするのか。

答 本市の建築物全体の完了検査率は令和元年度で96・8%と上昇しているが、今後、完了

検査を受けていない建築物の特性を把握し、検査率のさらなる上昇に向けた対応を検討する。

(質問時間59分)



河本 圭司  
政新会

## 災害時の補助電源確保における小水力発電の導入

問 太陽光発電システムと同等に、再生可能エネルギーのアイテムとして本市にできる範囲で小水力発電も導入していくべきと考えるが、市の考えは。

答 小水力発電等の再生可能エネルギーを活用した電力供給は、経済性や地理的条件等の解消すべき課題はあるが、避難所における災害の備えとして有効だと考える。

## なぐらやまなみバス事業

問 利用者にとって、利便性が高く魅力的なサービスを実現し、運行収入の増加につなげる必要があると考えるが、本市

の考えは。

答 コロナ禍や燃料費高騰により厳しい経営だが、今後も西宮市都市交通会議やさくらやまなみバス利用促進協議会での議論を踏まえ、収支改善も考慮しながら、利便性向上を検討する。

## リン鳴尾浜の再整備

問 今後の再整備には、一般市民の自由利用を大きく制限されることも危惧される。そのため公園本来の意義・目的を十分に理解した上で事業者と対話することが重要だと考えるが。

答 臨海部に位置する公園・緑地をはじめとした公有地等の有効活用の観点から、効率的かつ効果的な利用のあり方を検討し、総合的に判断していく。

(質問時間53分)



草加 智清  
会派・ぜんしん

## 兵庫医科大学病院へのバス路線の早期開設

問 これまでの一般質問の中で1日でも早く開設されるように訴え続けてきた兵庫医科大学病院方面へ向かう新たな小曽根線のバス路線が、長引くコロナ

禍の影響を受けて、開設が遅れているが、次のダイヤ改正を含む関係機関との協議や必要な手続きは進んでいるのか。

阪神バスから、新規路線開設の近畿運輸局の許可に約3カ月要するほか、バス停設置に係る道路管理者の道路占用許可、警察の道路使用許可等の手続きを今後順次進めると聞いている。



中央体育館と武道場の再整備

これまで、中央体育館と武道場の再整備については、一体ではなく、別棟での整備を要望してきた。また、要求水準書に、阪神・淡路大震災を経験している市としての大災害時の運用面や体育館アリーナで開催される大会と武道関係の大会との併用利用時のなどを十分に考えてもらわなければならないことなどの説明を記載し、面談の時に口頭での説明も必要だと思うがどうか。

要求水準書では必ずしも

武道場と体育館の合築を前提とせず事業者の提案を受ける予定。利用者にとって実用的で使い勝手がよく、災害時や大会時の利用が円滑にできる施設となるよう事業者と十分協議していく。

(質問時間47分)



一色 風子 無所属セクション

生ごみの減量

小型のバイオマス処理機や各家庭のコンポストの堆肥を回収するスポットを地域の公共施設などに設置し市内の街路などで利用することで、市内循環の仕組みを作ることがどうか。

本市の生ごみ処理機購入費の補助制度は申請が年々減少し平成30年度の見直しで廃止となった。そういう中行政としてできることをやっていきたい。

中央図書館の運営への市民参画

移転リニューアルされる図書館の運営について市民も共に関わることができるのか。

基本計画の策定段階で市民の意見を聞く機会を設け、移転後の運営についても市民と協働

働ける方法を研究し、「市民とともにつくる図書館」を目指す。

(質問時間57分)



中央図書館 (川添町)



八木米太郎 会派・ぜんしん

名塩道路の整備状況

名塩道路整備の進捗状況について聞きたい。

生瀬地区の西宝橋架け替え工事は交通を仮橋に切り替え、令和5年5月末までに国道拡幅部の橋脚を新設予定。生瀬トンネル内部の設備工事やトンネル付近の橋梁工事、道路改良などを行い、8年春の供用に向け事業を進める。東久保地区は赤坂峠交差点付近で工事用道路の設置に着手し、名塩茶園町交差点付近では河川の付け替え工事や道路改良工事を進めている。

名塩地区コミュニティバスの見直し

本格運行に向けて、名塩地区コミュニティバスの今後の見直しについて聞きたい。

住民代表で構成される準備委員会、試験運行の結果から一部運行ルートやバス停位置の見直し等の課題を整理し、沿線住民のアンケート結果も勘案した新たな運行計画が取りまとめられた。第2回の試験運行は令和5年5月末までの平日に実施され、本格運用の是非を判断していくとされている。

その他の質問 固定資産税過誤納金の還付(質問をめぐる諸問題)、生涯学習事業・公民館のあり方(営利目的に関する使用基準の緩和)、地域医療課題(隣接医療圏域での病院統廃合)、地域交通課題(県道生瀬門戸荘線整備の現状と見直し)

(質問時間40分)



松田 茂 公明党議員団

シニアサポート事業の拡充

現役時代は仕事中心の生活をしてこられたため、地域と

のつながりがもてず、リタイア後に地域にとけこみにくい。シニアサポート事業は、就労的要素もあり男性高齢者の社会参加促進につながる。依頼する仕事の内容や条件を一部見直すなど、提供会員の拡充につなげては。

提供会員と利用会員との依頼業務内容のニーズや居住地などのミスマッチにより活動に結びつかないなどの課題がある。今後、委託業者と連携し、会員への聞き取りによる課題分析を行うとともに、会員の体験談の紹介などの効果的な広報により会員の拡充に努め、高齢者の社会参加を推進していく。

高齢者の移動サポート

自家用車では、行きたい所へすぐに行けていたが、運転免許証を返納すると、行きたい所に行けない状況。本市が目指している「みんながお出かけしやすい交通体系」とは。

高齢化の進展で交通弱者の増加が予想される中、誰もが利用しやすい徒歩と公共交通を中心とした交通体系を目指すため、充実した鉄道網を有効に活用し、徒歩と鉄道を結ぶ交通、

バス交通に重点を置く必要がある。また、バス関連の実施策として路線の強化再編、乗り換え利便性の向上等が挙げられる。

(質問時間55分)



坂本 龍佑  
政新会

私道における固定資産税の軽減措置対応

私道における固定資産税の軽減措置について、私道に花壇や工作物等がある時、軽減できない通告をするべきでは。

通行上の制約により軽減等の継続ができなくなる旨を文書等で予告し、状況の変化がないときは軽減等措置を取り消すなどの対応が必要と考えている。

市営住宅駐車場の利活用

市営住宅の駐車場は年々利用者が減少している。収入増につなげるために、30台未満の駐車場でも外部居住者に賃借し、駐車場に募集の概要を記した看板設置やネットでの募集の実態が分かるようにすべきでは。

駐車場の目的外使用には国の許可が必要で、30台未満の駐車場でも入居者以外への貸し

出しについて引き続き国と協議し、広報の手法も検討していく。



多子世帯の保育料の一律化

多子世帯の保育料は子ども年齢によって、支払額が違い、公平性に欠ける。西宮市独自財源で一律化を図るべきでは。

待機児童の解消を最優先課題として、施設整備や保育士確保などの様々な対策を講じており、軽減制度の拡充の財源を確保することは現時点では困難。その他の質問 固定資産税返還金支払い要綱の公開、山東自然の家の活用方法

(質問時間67分)



吉井 竜一  
政新会

西宮の観光

文教住宅都市として発展していく中で、「西宮の観光」について皆さまあまり関心がなかったと思うが、近年のSNSの

発展は「観光」という分野に大きな変化をもたらした。「ニューツーリズム」という新しい概念は今まで観光地でなかった地域にスポットを当て、そのまちが観光の分野で輝く事例が多く見られる時代になっており、西宮の観光もこれからの時代に向け、再認識する必要がある。市が主導して観光資源の再発見についてのプロジェクトチームを発足させ、「西宮の観光」を再度、産業のテーブルに挙げるべきと考えるが、市の考えはどうか。

本市では平成24年度から26年度にかけて、既に存在するまちの魅力にさらなる付加価値をつけ、観光資源として市民が企画し育て、まちの多くの人々に楽しんでいただく「西宮・まちを旅する博覧会」を開催した。27年度以降プログラムの一部は現在も継続実施しているが、掘り起こされた観光資源を有効に活用するまでには至っていない現状である。まちに存在する小さな魅力を観光資源として発展させるためには、これまでの手法にとられない発想が必要と考えており、他の自治体の事

例も参考にしながら検討していく。



大原 智  
公明党議員団

(質問時間59分)

福祉タクシー派遣事業の対象者の拡充

福祉タクシー派遣事業について、中程度の障害者手帳をお持ちの方に拡大し、社会参加を促進すべきでは。

対象を中程度の方まで拡大した場合、重度の方への事業と合わせるも現在の2倍程度の費用が必要となり財政上の課題があると考えている。財政面の課題を含め障害のある方日々の生活を支える支援制度について他市の実施状況等を調査研究する。

9価HPVワクチンの定期接種化への対応

9価HPVワクチンの定期接種化に伴う本市の対応は。

令和5年4月からの接種開始に向け国が準備を進めており、市も接種対象者へ早期に案内文、予診票等を送付し周知を図る。従来ワクチンを1、2回接種済みの方でも医師と相談の上接種可能であることも改めて

案内文等で周知する必要がある。



新たな奨学金返済支援制度の導入

対象や目的を明確にして本市の新たな奨学金返済支援制度を導入しては。

県の奨学金の返済支援は中小企業の人材確保と雇用定着の観点から意義がある。既存の支援策に加えて、本市独自の奨学金返済支援制度の導入については、対象者の選定、他市の実施状況、社会的需要の観点を踏まえ研究する。

(質問時間42分)



山田ますと  
公明党議員団

身体障害者自動車運転免許取得費助成の拡充

二障害格差を是正し、身体障害者自動車運転免許取得費助成を拡充し、療育手帳および精神障害者保健福祉手帳交付者も対象に加えるべきだと考える。市の見解を聞きたい。



【答】 自立および社会参加を促進することを目的に各種障害者手帳の交付者を事業の対象とするため、近隣市等の動向も参考にしながら事業費用や助成内容等の課題を整理し検討を進める。

**妊産婦に寄り添った  
伴走型相談支援**

【問】 全ての妊産婦に寄り添った伴走型相談支援を継続的に実施するために保健師や助産師など人材確保は必須である。市の考えを聞きたい。

【答】 妊娠届出時に加え、妊娠8カ月頃と出産後の面談実施体制を年度内に検討。12月中旬以降に発表予定の国の実施要綱等を参照し、必要な専門職の確保、実施方法等を検討していく。

**市道認定路線の適切な管理**

【問】 市道認定路線の適切な管理とはどのような状態のことをいうのか、市の見解を聞きたい。

【答】 道路法では、「道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つよう維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないよう努めなければならない。」となっている。法の規定に基づき、適切な管理に努めていく。

(質問時間61分)



宮本 けいち  
市民クラブ改革

**避難所における備蓄品の配備**

【問】 現在、災害備蓄品は各避難所ではなくエリアごとに集約配備されている。せめて高齢者や要配慮者のため少量ずつでも全ての避難所に配備できないか。

【答】 全指定避難所への配備はスペースや在庫管理等の課題がある。まず備蓄倉庫の整備を速やかに完了し、災害時に確実に配送できる体制を構築したい。



備蓄倉庫 (大社中学校)

**地域コミュニティへの  
活動支援**

【問】 自治会や子ども会などの地域団体では担い手不足や運営に苦勞していると聞く。地域コミュニティを存続・推進させるために市として何らかのサポートはできないか。

【答】 自治会等の担い手確保につながる方策を共に検討し関係部署が連携して取り組む。また、子ども会協議会と連携して持続可能な子ども会活動を支援する。

**放課後キッズルーム事業**

【問】 平日も夏休み等の長期休業中も夕方17時までで学校で過ごすことのできる委託型放課後キッズを全校で実施できないか。

【答】 事業趣旨および費用対効果の観点からも、直営型を中心に事業を拡充し、待機児童が発生する見込みの学校については委託型の導入も検討する。

▼その他の質問 子ども・子育て相談窓口の拡充、聴覚障がいのあるかたに対する支援 ほか (質問時間48分)



福井 清  
維新の会  
西宮市議員団

**公園の公衆トイレの  
清掃委託費見直し**

【問】 本市と尼崎市の公園の公衆トイレの清掃委託費は1回当たり1・6倍、計3615万4160円本市が高い。あまりに高額。適正な委託費に見直すべ

き。時期も踏まえ答えよ。

【答】 積算が実情に整合しているか確認し、作業内容や条件等も近隣市の状況も含めて調査、検証し、早期に対応できるものは令和5年度の発注に反映する。



**駅前等の公衆トイレの  
清掃委託費見直し**

【問】 本市と尼崎市の駅前等の公衆トイレの清掃委託費は1回当たり1・4倍、計222万372円本市が高い。紙代等を入れても高額。適正な委託費に見直すべき。時期も踏まえ答えよ。

【答】 1回当たりの清掃費用については改善の余地があると考えており、近隣市の状況も調査しながら、次年度分の発注に間に合うよう見直しを進めていく。

**いじめに対するアンケートを  
行わなかった理由**

【問】 寝屋川市の監察課のように第三の機関でいじめの対応をすることに於いて、生徒、保護者にアンケートを取ることを提案した。アンケートを行わな

ったのはなぜか。市長に問う。

【答】 子供へのアンケートや研修による教員の感度向上で中学校のいじめ認知件数は半年で倍近く増加した。子供たちのことを考え、より一層頑張っていく。



佐藤 みち子  
日本共産党  
西宮市会議員団

**国の保育士配置基準**

【問】 国の保育士配置基準は戦後すぐに決められ、その後3歳児の20対1は53年間、4、5歳児の30対1は74年間変わっていない。このことについての市の見解は。

【答】 国は保育サービスの質を確保する観点から配置基準を定めており、保育指針改定時に必要に応じて見直すとしているため引き続き国の動向を注視する。

**学校給食費無償化の継続**

【問】 令和5年4月からは市独自で学校給食費の無償化を継続すべきと考えるが市の見解は。

【答】 事業継続に不可欠な国の支援が示されていない状況では困難。また、物価高騰で給食物



資の購入が給食費で賄いきれておらず、今後の対応を検討する。(質問時間37分)



協田のりかず  
維新の会  
西宮市議員

物価高騰対策

世界的な需要増加やロシアによるウクライナ侵攻、加えて円安の影響等で物価が著しく高騰しており、市民生活に多大な負担増となっている。そのため、消費者支援として電子版プリアム商品券事業を行うべきではないか。また、事業者も同様に燃料費や光熱費が高騰しており大きな負担となっていることから補助金等の事業者支援策も講じるべきではないか。

財源の大部分を地方創生臨時交付金に頼らざるを得ず、限られた財源を有効に活用できるように、議論を重ねて施策の内容を決定している。子育て世帯や困窮度の高い世帯への支援を

優先したことに加え、事業費が高額となるなどから、消費者支援および事業者支援のいずれも実現できていないが、今後も社会の状況に適した施策を実施するよう努める。

生活保護不正受給の未然防止  
および早期発見

生活保護は重要な社会インフラだが、不正受給も問題になっている。不正受給の未然防止および早期発見の為に、不足している人員体制の早期改善を行うべきだが市の見解は。

高齢者見守り支援員の採用や、課内研修の充実を図るなど体制の強化を進めている。今後とも人事当局と協議を続け、人員体制の強化に取り組む。(質問時間49分)



野口あけみ  
日本共産党  
西宮市会議員

高齢者補聴器購入費助成制度

放置すると認知症リスク

が高まる難聴。補聴器購入助成制度を創設すべきだがどうか。

補聴器以外の支援との公平性や財源の課題があり、市としては、補聴器活用の調査、研究等を踏まえた今後の国、県の購入支援の動向を注視していく。

次期介護保険制度の改定

次期介護保険改定議論に利用料原則2割負担化、要介護1、2の総合事業移行等があり、事業者、利用者が猛反対している。保険者である市も負担増給付減に反対すべきだがどうか。

現時点においては改定の詳細な情報が示されておらず、市として声を上げるべきところがどういところでどうい形なのかも含めて庁内で議論する。(質問時間39分)



澁谷 祐介  
会派・ぜんしん

保育支援システムの導入

昨年12月議会での私の質問を受けて、公立保育所2園で保育支援システムが導入された。今後の展開は。

システムの導入には一定

の費用がかかるが、超過勤務の縮減効果や事務補助員削減の可能性も踏まえた上で、公立保育所全園への拡充を検討する。

事業系ごみの排出量削減  
取り組みの推進

複数の指定ごみ袋の導入等、家庭ごみの分別推進・排出量削減の取り組みが進んでいる。事業者が排出するごみについても取り組みを推進するべきでは。

一定量以上廃棄物を排出する事業者の分別排出および適正処理の徹底、再資源化を推進し、少量排出事業者への対応は、実施手法等の調査研究を行う。



啓発チラシ

低入札価格調査制度の  
対象拡大

工物品質の担保・不当な安値受注防止のため、低入札価格調査制度(設定金額より低価格で入札された場合、内容を調査。問題がなければ低価格を提示した事業者が落札する制度)を予定価格5億円以上の工事で

採用している。競争性向上のため、対象範囲を広げるべきでは。

入札状況や他市の動向も注視しながら、一層適正な入札制度となるよう事業者と市双方の事務負担軽減と併せて制度の適用範囲の見直しも検討する。(質問時間58分)



大石 伸雄  
政新会

E BPMの推進

E BPM (エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案) 推進の考え方と進捗について聞く。

データ活用の研修やデータ分析の知見の蓄積等に取り組んだ。現在、事務事業評価制度の見直しや結果の活用等の検討、先進自治体の調査研究を行っている。先ず、庁内の機運を醸成し、E BPMの実装・浸透を進める。

甲子園浜ゴルフ場用地の  
契約延長

平成21年のコンペでは、事業計画が決まっていなくても10年後に解体して更地にして返還という条件を固守したために8社のうち6社が辞退した。に

も関わらず業者を選定したが、10年経った令和元年7月に西宮市土地開発公社はこの業者と再契約した。市当局の財政上の事情だけを斟酌するのではなく、入札参加者に詐欺的な手法で応募辞退をさせた責任をどう取るのかなどを明確にする必要があると考える。入札の公募のあり方や今後の事業の見通しを踏まえてそれが正しい選択なのか、契約の再延長についても当局の見解を求める。

再延長は新型コロナ拡大で財政状況の見通しが不透明な中、市の事業を先送りし行ったもの。効率的かつ経済的な貸し付けには現事業者との契約延長が最も現実的な選択肢であった。(質問時間68分)



個人情報保護と  
自衛隊への名簿提供

岸田内閣は、軍事費として歴代政権が堅持してきたGDP比1%を大きく破って、2%まで拡大している。  
西宮市は自衛隊に18歳と22歳のすべての市民の4情報(氏名、

生年月日、性別、住所)について住民基本台帳から抽出した募集対象者情報をエクセル形式およびPDF形式でCD-Rに出力したものを自衛隊に提供している。自衛隊による二次使用の恐れのない閲覧の方法に戻すか、四日市市のように宛名ラベルだけを変更可という方法のいずれかに変更すべきではないか。  
法令に基づき情報の取り扱いには細心の注意を払っているが、他市の例等も参考に改良の可能性の研究や一部対象者を除外した情報提供の検討を進める。(質問時間20分)



インクルーシブ教育

特別支援学級の児童生徒について、相反する国連勧告と文科省通知を受け、インクルーシブ(包括的な)教育をどのような方針で進めるのか問う。



児童生徒の個々の障害の状態、教育的ニーズ等を踏まえ、障害のある子供とない子供が可能な限り同じ場で共に学ぶことが重要と考えている。  
兵庫県立高校には健康診断の際、上半身着衣で行う学校もある。西宮市立の小中高校はなぜ脱衣で行っているのか、実施方法について児童生徒や保護者に理解を得ているのか問う。  
脱衣による健診の意義は正確な診断と虐待の早期発見として、丁寧な説明に努めており、特に配慮が必要な場合は個別に対応するよう説明している。

次期教育長の人選



来年3月末をもって教育長の任期満了となるが、石井市長がどのような教育理念をもって人選に当たられるのか問う。  
シチズンシップ教育への理念の共有と実務上の手腕が大

切。県とのパイプ、学校現場から敬意を持たれる存在、柔軟なコミュニケーション能力といったことを含めて人選をしていく。  
その他の質問 若者が繋がる居場所 ほか (質問時間49分)  
お知らせ  
〈所属変更〉  
・11月10日付で、田中正剛議員が政新会に入会されました。  
〈会派の結成〉  
・11月11日付で、「無所属セッション」が結成されました。所属議員は、一色風子議員、ひぐち光冬議員、よつや薫議員です。  
〈委員の選任〉  
・11月11日付で、よつや薫議員が議会運営委員に選任されました。  
・11月11日付で、一色風子議員が広報委員に選任されました。

3月										2月				3月定例会の開催予定			
23(木)	22(水)	16(木)	15(水)	14(火)	13(月)	10(金)	9(木)	8(水)	7(火)	3(金)	2(水)	1(火)	28(火)		27(月)	24(金)	17(金)
予備日	本会議 予算特別委員会(全体会) 委員会報告 委員長報告 討論、採択	予算特別委員会(分科会)						常任委員会		予算特別委員会(全体会) 委員会付託	本会議 一般質問、質疑、委員会付託	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 代表質問	本会議 代表質問	本会議 代表質問	本会議 施政方針 提案説明

▽開催予定時刻は10時です。  
日程は変更される場合があります。  
▽お問い合わせ…議会事務局議事調査課  
(079)8353378



# 委員会の活動状況

## 総務 常任委員会

山田ますと<sup>長</sup> 江良健太郎<sup>副</sup>  
大石 伸雄 川村よしと  
澁谷 祐介 中尾 孝夫  
野口あけみ 松山かつり

2022年度の施策研究テーマとして研究している「**総合計画**」は、地方自治法の改正により策定の義務付けがなくなった後も、本市では、市の全ての計画の最上位に位置付けています。委員会では、「本市総合計画が、広く職員に価値が共有されていない。」また、「市民と共感、共有された計画とは言えない。」など、現行の総合計画の課題を指摘しつつ、存在価値を高めるためには、何が必要か、どうすれば良いか、構成や計画期間など論点を整理し、議論を重ねており、2023年2月に市当局へ提言書を手交します。

また、管外視察に関しては、10月31日から11月2日の間、豊中市、横須賀市、藤沢市、仙台市を調査しました。

藤沢市は総合計画に替わるものとして市独自の市政運営の総合指針を策定しています。横須賀市はコールセンター、EBPM推進を調査するため伺いましたが、市独自の構成で総合計画を策定していることもわかりました。この2市は研究テーマとの関連が深く有益な視察でした。総合計画の計画期間は何年が適当か、シンプルでわかりやすい構成、市民へのメッセージ性など、新たな論点、切り口を見出すことができました。その他、豊中市では、総合コールセンターについて、仙台市では、東日本大震災の教訓を踏まえた危機管理について、その取り組みを学びました。視察から得た成果として市当局へ提言書を提出します。

## 民生 常任委員会

松田 茂<sup>長</sup> 河本 圭司<sup>副</sup>  
大原 智 河崎はじめ  
ひぐち光冬 福井 浄  
八木米太郎 よつや 薫

本委員会では、施策研究テーマ「**ゼロカーボンシティに向けた取組について**」の研究を進める中で、1月に送付予定としている市当局への提言書をまとめるにあたり、①公共施設のZEB化について、②電力の地産地消について、③その他の小項目を設定し、市当局との意見交換や施策研究テーマに関連した管外視察を実施するなど調査・研究をしております。

■**管外視察(10/25〜10/27)**  
久留米市では国内の既存公共建物で初となるZEB認証を受けた環境部庁舎を視察し、一次エネルギーの削減内容や職員の

常任委員会は、市の事務の調査や、議案・請願の審査のために設置されている常設の委員会です。西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長以外の全議員がいずれかに所属しています。今号では「施策研究テーマ」や「視察」について掲載しています。(記事は12月末時点)  
長 〓 委員長 〓 〓 副委員長

省エネ行動に係る取組指針について聴取しました。  
佐賀市では清掃工場を視察し、そこで排出される二酸化炭素を分離回収し、藻類培養や農業に有効活用することで、二酸化炭素の削減や産業の振興につながる仕組みを学びました。

佐賀県吉野ヶ里町の松隈地域づくり株式会社では小水力発電所を視察し、高齢化が進む中で売電収入を持続可能な地域づくりに活かす仕組みの実体験談を伺いました。  
北九州市ではウーマンワークカフェ北九州を視察し、女性を支援する国・県・市それぞれの部署を一つのフロアに集結することで効率性・利便性を高め、ワンストップで支援されていることが確認できました。  
帰着後は委員間で視察内容について意見交換を行い、提言を含めた報告書をまとめ、市当局へ送付しました。

## 健康福祉 常任委員会

八代 毅利<sup>長</sup> 田中あきよ<sup>副</sup>  
岩下 彰 うえだあつし  
かみたけゆみ 菅野 雅一  
町田 博喜 脇田のりかず

本委員会の施策研究テーマ「**認知症と地域共生**」に関して10月24日、26日、30日に足立区・町田市・大和市・伊賀市・神戸市を管外視察し、11月には若年性認知症交流会「わかみや会」を管内視察し、損害保険会社、認知症介護者の会「さくら会」、認知症地域支援推進員および西宮市高齢者・障害者権利擁護支援センターとの勉強会を精力的に行いました。さらに当局を招致して認知症初期集中支援チームの事業の概要についてヒアリングを行いました。  
管外視察においては本市では取り組んでいない施策に触れる



ことができ大いに市への提言の参考になったと思います。また管内視察や勉強会において認知症の人の家族や当事者の方とお会いして、どのような施策が求められるのかということに関して非常に参考になる話を聞くことができました。その上で管外視察報告書と管内視察報告書を作成し、さらに提言作成に向けて取り組んでいます。その間に当局に対して本市の認知症施策に関して多数の資料提供を依頼し、それらも参考にさせていただいております。

当局への提言は、①普及啓発②予防(早期発見・早期対応・相談体制・フォロ体制等)、③権利擁護、④本人と家族への支援、⑤その他(あれば)、という項目立てで各委員が作成いたします。

そしてそれらをまとめて令和5年1月に当局に委員会としての提言を提出します。



本委員会が所管する教育委員会、こども支援局に関する諸議案の審査並びに請願審査、所管事務報告の議論を進めてきています。また、並行して施策研究テーマに取り組むため、こども支援局分に関する施策研究においては保育所整備の将来像を考えるにあたり、管内視察で市内の幼稚園型認定こども園や特区小規模保育事業所と連携した公立幼稚園に視察に行かせていただきました。既存施設の有効利用の現状と課題について知ることができました。管外視察では、横浜市の「保留児童対策タスクフォースの設置」などを

**教育こども**  
常任委員会

- 一色 風子<sup>長</sup> 大迫純司<sup>副</sup>
- 大川原成彦 佐藤みち子
- 篠原 正寛 多田 裕
- 田中 正剛 宮本けいこ

テーマに先進事例を研究することができました。教育委員会所管分の施策研究については、学校支援をテーマにしておりその中で11月24日、12月4日にかけて教員約2000人に向けてのアンケート調査を実施しました。回答率は3割弱と低い回答率でしたが、現場の教員の業務負担の実情が見えるものになり、提言に向けて良い材料になったと感じています。今後はPTA協議会との勉強会も実施予定で、両施策研究テーマは最後のまとめに入っていきます。施策研究とは関係ありませんが、管外視察では現市長公約となっている子どもの条例の先進市となる川崎市を訪れ条例や条例を根拠に運営されている子どもの居場所「川崎市子ども夢パーク」を見学させていただきました。子どもが主体的に活動できる社会教育施設としてのプレイパークを見学させていただきました。

**建設**  
常任委員会

- たかのしん<sup>長</sup> 坂本 龍佑<sup>副</sup>
- 草加 智清 花岡ゆたか
- まつお正秀 やの 正史
- 山口 英治 吉井 竜一

施策研究テーマ「市営住宅のあり方について」の調査・研究を重ね、12月19日付で提言書を取りまとめ市当局へ送付しました。提言書は市議会ホームページにて公開しております。今後の委員会において市当局からの回答を受ける予定です。

市営住宅を取り巻く課題は多岐にわたりますが、中でも今回は「管理戸数の適正化および今後の整備・更新」、すなわちハード面の取り組みを中心に取り上げました。本市は令和4年4月1日時点で9122戸の市営住宅を管理していますが、今年度に改定された市営住宅整備・

管理計画においては、令和13年度末の目標管理戸数を約8300戸と定めています。また、長期的な水準として、令和42年度最低必要戸数を5800戸と推計しています。これらの妥当性や、戸数縮減を進めるための具体的な方策、財源捻出や維持管理費用等に関する意見が各委員から提起されました。また、ハード面以外の提言については、特記事項として記載しています。

■管外視察について

10月31日から11月2日まで、関東方面への管外視察を実施しました。東京都において、施策研究テーマと直結する都営住宅の取り組みを調査。共益費徴収の外部化や建て替えによる創出用地を活用したまちづくりについて最新の動向を把握しました。また、他の自治体では公共施設の木造化、Park PFI、小規模公園の活用、庁舎整備等について見聞を深めました。

常任委員会に関する各種情報はこちらをご覧ください。



議案等審議結果一覧表 (令和4年12月定例会)

全会一致で可決等されたもの

Table with 4 columns: 市長提出, 予算, 条例, 一般案件, 人事. Rows include items like '令和4年度補正予算' and '新規制定 職員の定年等に関する条例'.

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table with columns for political groups (会派名等) and individual council members (議員名). Rows list various cases and their voting status (賛成, 反対, 欠席, etc.).

- ・採決結果の○は、提出された議案等に対して賛成多数で可決されたことを示しています。
・「退場」とは、採決に参加しなかったことを示しています。
※1 副議長は採決に加わっていません(議長除斥により、副議長が議長の職務を行ったため)。

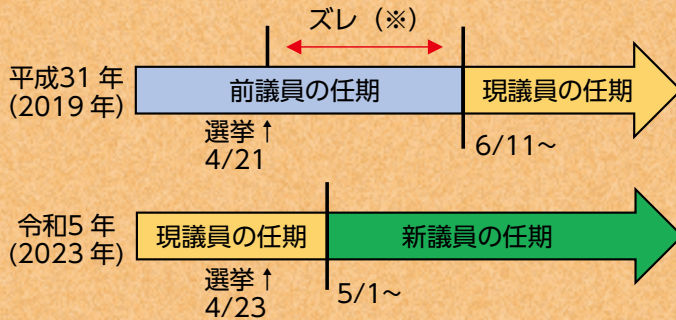
議案等審議結果一覧表 (令和4年11月臨時会)

全会一致で可決等されたもの

Table with 2 columns: 市長提出, 予算, 報告. Rows include '令和4年度補正予算 一般会計(第7号)' and '専決処分[令和4年度一般会計補正予算(第6号)]'.

請願・陳情の提出に関するお問い合わせはこちらまで → 3月定例会で審査する請願・陳情の締め切り(予定)は、2月28日(火)午後5時です。お問い合わせ先:西宮市議会事務局 議事調査課 Tel(0798)35-3377

# 西宮市議会議員選挙 4月23日(日)



※ズレの期間が前議員の任期となるため、4月に初当選した議員が6月まで職務を開始できない等の問題がありました。

任期満了に伴う西宮市議会議員の選挙が行われます。投票日に予定のある方は、期日前投票や不在者投票をご利用ください。

未来を決める大切な選挙です。忘れずに投票しましょう。

## 選挙期日と議員任期のズレ解消

阪神・淡路大震災の影響により、平成7年から平成31年までの西宮市議会議員選挙(補欠選挙を除く過去7回)では、選挙期日から新議員の任期開始までの間に、約1カ月半のズレが生じていました。平成31年4月の選挙にて、通常4年の議員任期が特例法により3年10カ月に短縮されたことで、令和5年4月23日の選挙からはズレが解消される予定です。

## 寄附の禁止と虚礼の廃止にご理解・ご協力をお願いします

公職選挙法により、次のような行為は禁止されています

### 寄附の禁止

議員や後援会が、選挙区内の人や団体に対して以下のことを行うこと。

- イベントへの寄附や飲食物等の差し入れを行うこと
- お中元・お歳暮を贈ること
- 祝儀、病氣見舞、香典を出すこと(議員自らが出席する結婚披露宴での祝儀や葬式での香典を除く)

### 寄附の勧誘・要求の禁止

有権者が議員に対し、寄附など出すよう勧誘や要求すること。

### あいさつ状の禁止

議員が、選挙区内の人や団体に年賀状、暑中見舞いなどのあいさつ状を出すこと(自筆による相手方への返事は除く)。

### 有料広告の禁止

議員や後援会が、選挙区内の人や団体にあいさつする目的で、新聞、テレビなどに有料広告を出すこと。



## 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場に入る議員を原則半数程度まで減らす取り組み(議案の採決時等を除く)や、傍聴定員を半数に減らす取り組みを行ってきましたが、12月定例会からは通常の運用(全議員が出席、全傍聴席を使用)に戻しています。一方、感染者が未だに多く発生していますので、傍聴の際は、入場時の検温、マスクの着用、手指消毒等の感染防止対策に引き続きご協力をお願いします。

